

## サイバー攻撃防御装置

# 大量データ通信遮断

イオノス

情報セキュリティ技術 大量データを監視し、一度にデータを送りつけてサーバー開発のイオノス（東京 大量のデータが通ると通信を停止させる「DOS」・世田谷、大穂園井社長） 信を一時的に遮断する装置（サービス拒否）攻撃はネットワークを通るデータを開発した。大量のデータや、ウイルスに感染した

パソコンが外部に大量のメールをばらまいてしまうのを防ぐ。

製品名は「トラフィックブレイカー」。過電流

が流れると回路を遮断するブレイカーと同じような働きをすることから名付けた。企業内ネットワ

ークとインターネットの間に設置する。

装置内では内部・外部

のネットワークへの接続を連続的に切り替えながら通信するため、常にど

ちらか一方のネットワークだけに接続している状態となる。内外どちらからでも大量データを送ら

れてくると切り替えを停止し、物理的にネットワークを遮断する。データ量が通常に戻ると自動的に通信を再開する。

価格は三十六万円。来年四月に発売する。サーバー内部に組み込めるPCボードタイプの発売も

予定している。